

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援 はっぴいち		R7年 2月 5日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			適時、動の部屋と静の部屋を効果的に使い分けていきたい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		余裕を持って配置することで更に効果的な支援が期待できると考える
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			ある程度構造化されているが、今後も改善の余地はある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の清掃と定期的な環境調整を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		静の部屋やテントハウスなどでカムダウンのスペースを提供している	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1		目標は設定され、それに対して業務改善を行うことはしているが、振り返りは十分でない為、それに対しての時間を設けていきたい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	今回が初めての評価だが、それ以前から保護者からの意見には適時対応している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		適時ミーティングの機会を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			まだ行われていないが第三者機関は設置されている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4		定期的に研修の機会を設けている	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムはHP上で公表されている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		児童発達管理責任者を中心に職員全体で子どもや家庭の把握を行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		適時ミーティングを開催し、各自の把握に努めている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		計画は共有しやすいように設置場所を工夫している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		保護者、関係機関からの聞き取りによるアセスメントに加え、日々の様子から本人の様子等を把握している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		保護者や関係機関からの聞き取りや日常の様子を踏まえ、総合的な観点から支援計画が立案出来るように努めている	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		定時のミーティングにて活動の内容や進行について計画してる	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		1か月ごとの内容、1日ごとの内容が多様化するよう工夫に努めている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		各児の様子を考慮しながら、活動の態様を決定してる	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		始業後に定例のミーティングの時間を設けている	スタッフ不足(体調不良等)により役割分担が手薄になる日もあるが安全には十分注意し支援を行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	振り返りが毎回行われているわけではないが、気になった点や共有すべき点がある場合は適時話し合っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		HUGシステムにて一日の記録、個別に長期的な支援の記録を残している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングが行える体制を整えている また、モニタリング時以外にも保護者や関係機関と連携している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		体制を整え、発展に努めている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		園や保護者の希望を受け、連携を行っている また、送迎時に適時行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		まだ行った事例はないが、体制は整備されてる	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			まだ機会を持っていないが、将来的には行いたい	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4		法人内の保育園と交流の機会をもっている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		支援記録、送迎時の対面、LINEなどの媒体を使用している	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		まだ行えていない 体制の整備を行い将来的に行えるようにしたい

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時(見学時含め)に伝えている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		保護者の意向を聞きながら、支援者や関係機関の話、子どもの様子を踏まえて作成している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		署名を頂く際に説明している	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		相談に対して適時対応している	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3		感染症等に配慮しながらいずれ行えるよう体制を整えたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		体制を整え、可及的速やかに対応できるよう努めている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		HP、インスタグラム、LINE等を使用している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	1	鍵付きの書庫に書類を保管している	会話等に注意を払うことを徹底する
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		体制を整備している	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		保護者の意向、子どもへの配慮等ある為、現状では計画していない 希望があれば対応を検討したい
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	3		マニュアルはあるが周知は徹底されていない(特に家族) 訓練は計画済み。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	2		BCP策定済み 運用については今後施設の実情に合わせて改善したい 訓練は計画済み
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		アセスメント時に持病、服薬等について把握し職員に共有している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		保護者の指示に基づくもの 厳密には医師の指示書ではない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画作成済み 適時チェックを行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2		契約時に伝えている 支援時も特に予測される場面(気象災害など)では再度周知している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		書面の作成と適時カメラの記録を確認し、再発防止に努めてる	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	委員会を設置し、研修を企画している また、研修の場で職員の視点からの事業防止に取り組んでいる	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		身体拘束について研修を行い、職員の啓発を行うと共に、保護者に対しては契約時に説明し、同意を得ている	